2021.10

メーカー
管理用です。

施工説明書

TOTO

壁掛小便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠警告

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない
故障、感電・けがのおそれがあります。

⚠注意

必ず実行

必ず2人以上で施工を行う
腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

給水接続部				目皿
カバー（1個）	袋ナット（1個）	スリップワッシャー（1個）	パッキン（1個）	（1個）

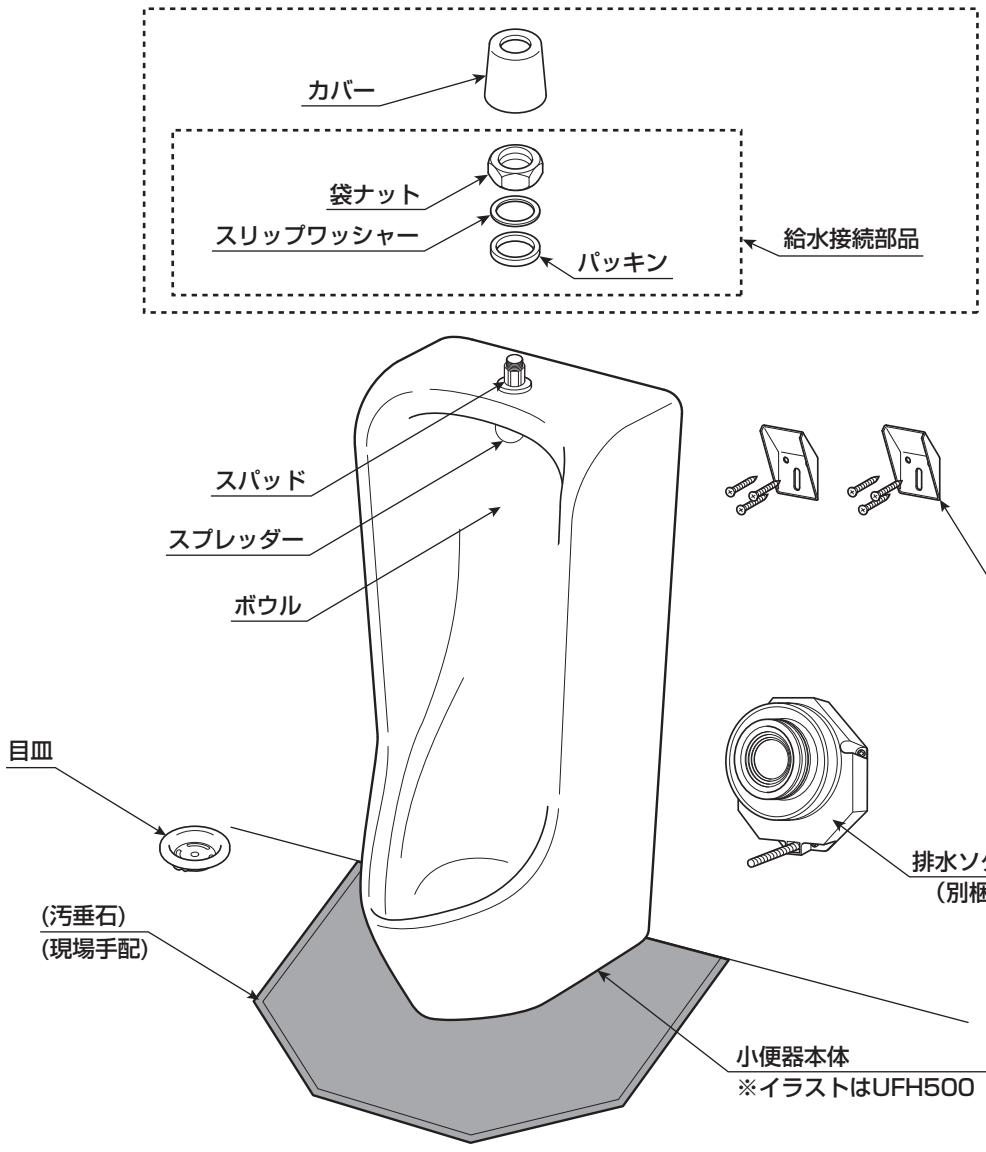
その他	
	お客様に必ずお渡しください
 施工説明書（1部）	 取扱説明書（1部）

●排水ソケットは別梱包です。

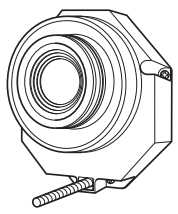
取り付け前のご注意

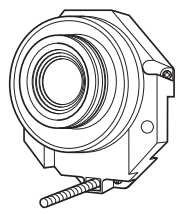
- 水道工事は十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- 施工前に給水管、排水管の中のごみや砂などがあれば完全に除去してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 施工前に必ず同梱部品の確認を行ってください。

各部のなまえ



排水ソケット（別梱包）


HP500（塩ビ管用）


HP500E（鉛管用）
HP500M（既設取り替え用）

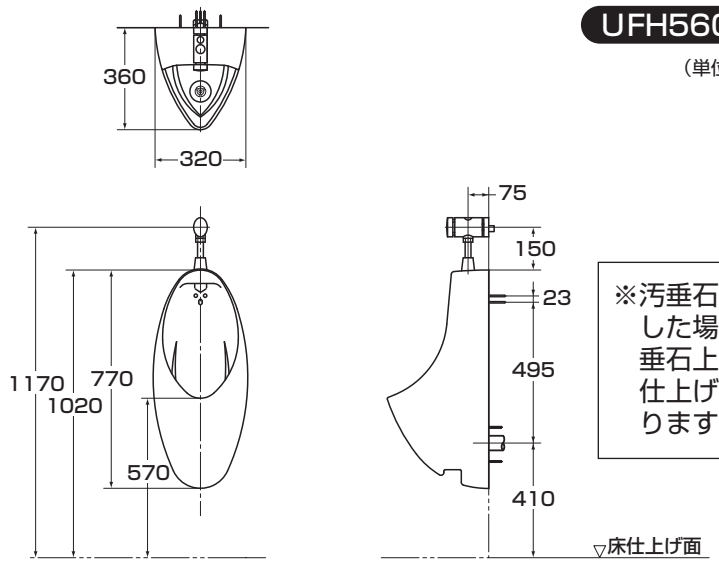
※排水ソケットは専用品です。
他社の排水フランジは取り付きません。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

完成図

UFH560(Z)

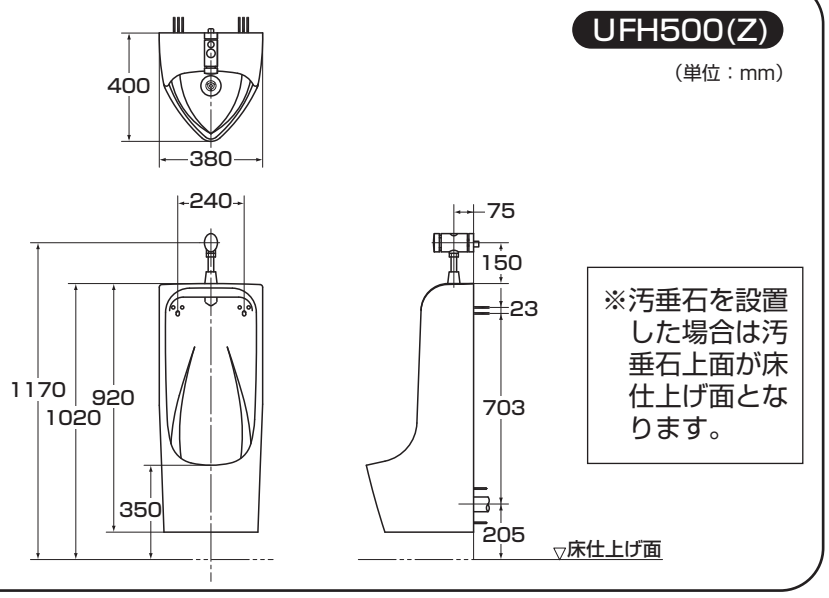
（単位：mm）



※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

UFH500(Z)

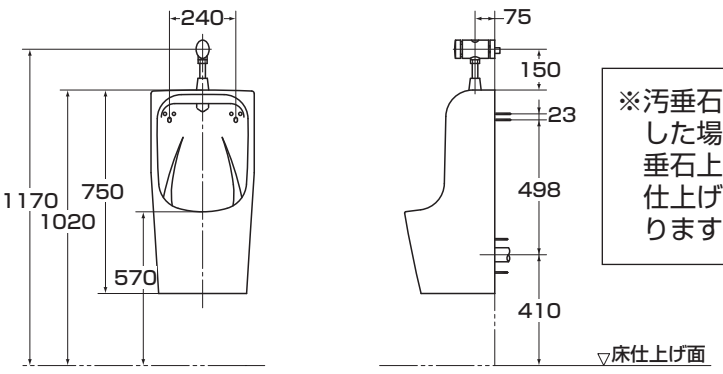
（単位：mm）



※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

UFH570(Z)

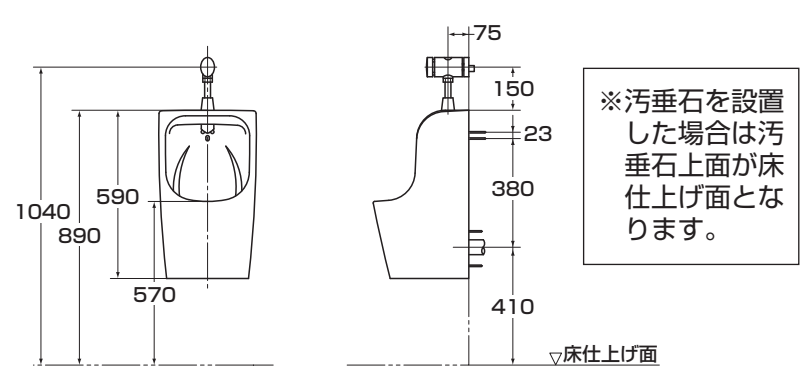
（単位：mm）



※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

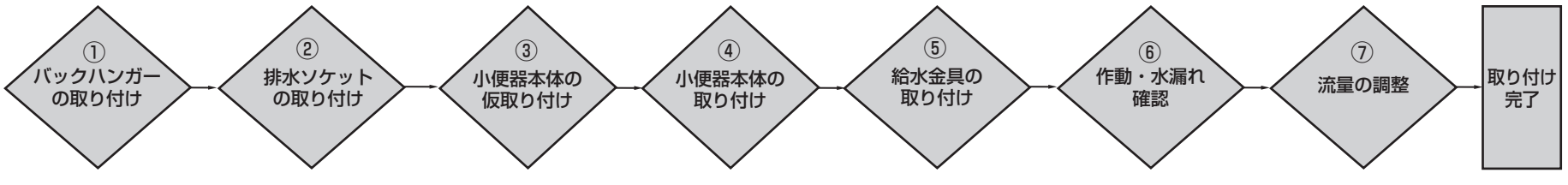
UFH557(Z)

（単位：mm）



※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

施工手順



※排水ソケットの取り付けは別途、排水ソケットに同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

※給水金具の取り付けは別途、給水金具に同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

取付方法

1 バックハンガーの取り付け

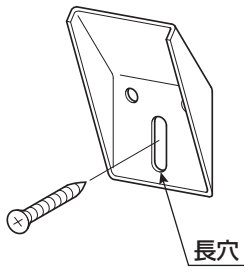
注　意

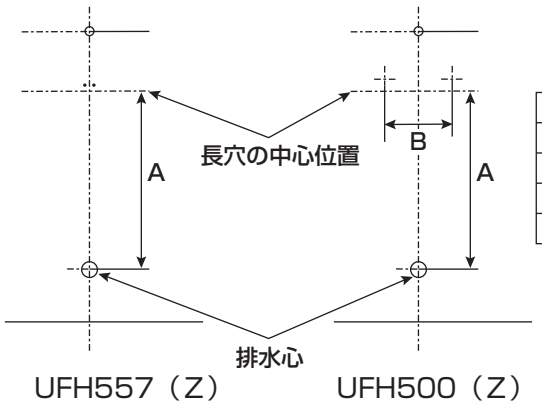
バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、長穴のみで仮止めし、小便器が取り付くことを確認してから本固定する。

【バックハンガーの取付手順】

・右図取付位置に長穴のみでバックハンガーを仮止めする。

UFH557(Z)・UFH560(Z)のバックハンガー固定は長穴の中心を小便器中心線にあわせます。





UFH557（Z）　UFH500（Z）
UFH560（Z）　UFH570（Z）

（単位：mm）

	A	B
UFH500（Z）	703	240
UFH570（Z）	498	240
UFH557（Z）	380	−
UFH560（Z）	495	−

※図中の排水心は排水管取り出し位置を示したものです。

2 排水ソケットの取り付け

※排水ソケットの取付方法は、別途排水ソケットの施工説明書を参照ください。

裏面へつづく

3 小便器本体の仮取り付け

⚠ 注　意

禁止

小便器排水口部から挿入して、小便器を取り付けない
排水ソケットから水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

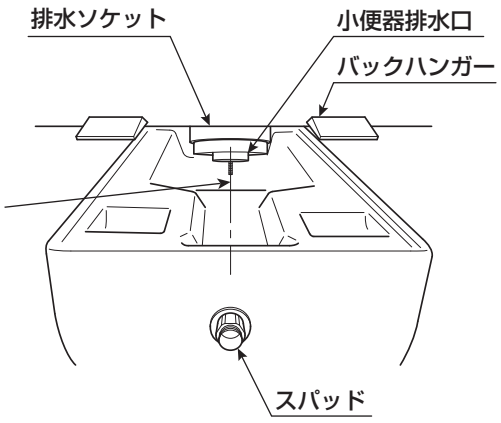
小便器を強く押し込み過ぎない
小便器や壁が傷つくことがあります。

❶小便器本体をバックハンガーに掛け、所定の位置に取り付けられるようバックハンガー位置を微調整する。

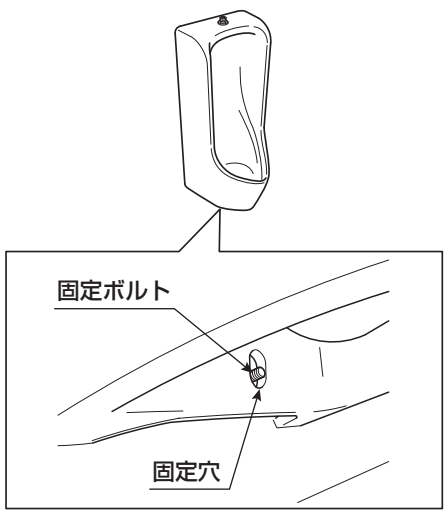
【小便器本体の取り付けかた】

施工ポイント

・小便器排水口と排水ソケットの中心をあわせて小便器本体をバックハンガーにかける。

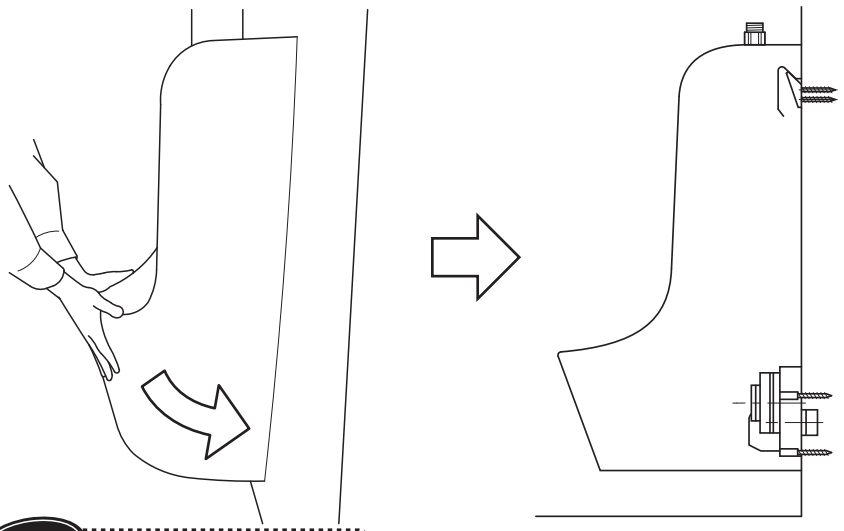


・排水ソケットの固定ボルトと小便器固定穴の中心があっているかを確認する。
中心がずれると小便器を取り付けることができません。



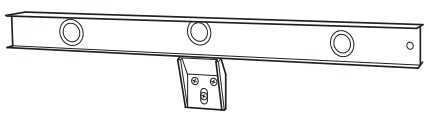
❷小便器下部を下図矢印の方向に押し込む。

小便器を排水口に挿入する前　　小便器を排水口に挿入後

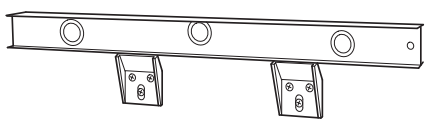


Point
ゴムジョイントに水や石けん水を塗るとスムーズに入ります。

❸小便器を取り外し、水準器などでバックハンガーの水平レベルを確認し、３本のねじでバックハンガーを本固定する。



バックハンガー１個の場合



バックハンガー２個の場合

4 小便器本体の取り付け

⚠ 注　意

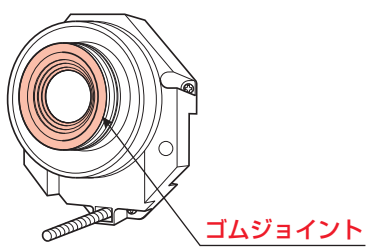
禁止

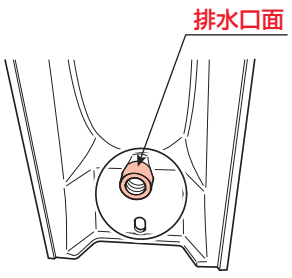
小便器を強く押し込み過ぎない
小便器や壁が傷つくことがあります。

小便器本体を取り付ける際は、排水口側から取り付けはしない
排水ソケットから水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

【小便器本体取付手順】

❶小便器排水口面・排水ソケットのゴムジョイントのごみを取り除く。





❷「3. 小便器本体の仮取り付け」と同じ要領で小便器を取り付ける。

・小便器排水口と排水ソケットの中心をあわせて小便器本体をバックハンガーに掛ける。

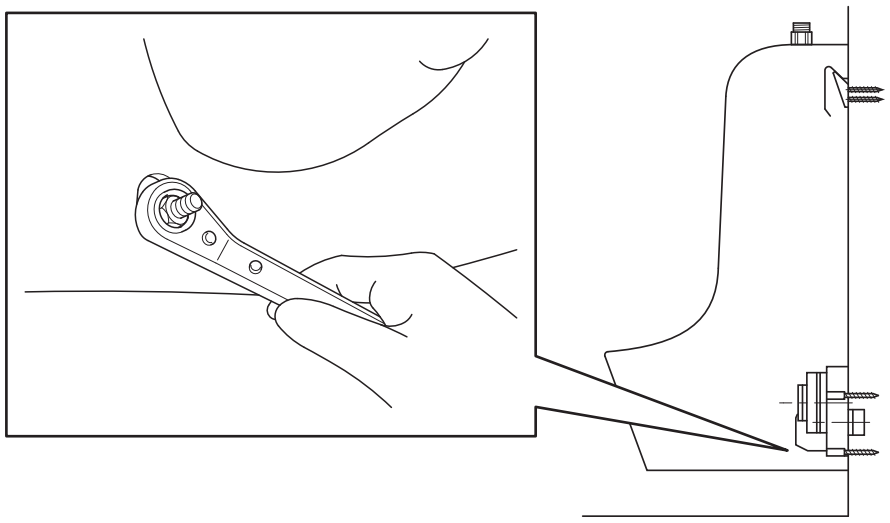
・小便器固定穴と固定ボルトの位置関係を確認し、小便器を排水ソケットに押し込む。

Point
ゴムジョイントに水や石けん水を塗るとスムーズに入ります。

※排水ソケットの固定ボルトが小便器固定長穴の中心にくるように小便器の位置調整を行ってください。小便器排水口と排水ソケットの中心がずれると小便器を取り付けることができません。

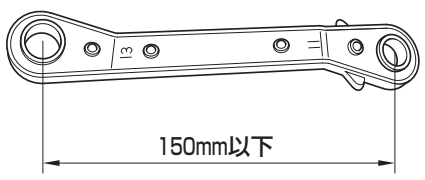
・小便器取り付け後、上面の水平レベルを確認する。
※給水金具が取り付かない場合があります。
※排水ソケットから水漏れするおそれがあります。

❸排水ソケット同梱部品のワッシャーとナットで小便器を固定する。



注　意
ナットを強く締め過ぎて小便器本体・排水ソケットを割らないようにご注意ください。

※ナットの対辺は13mmです。
UFH500（Z）のナット締め付けには全長150mm以下の板ラチェットレンチを推奨します。



5 給水金具の取り付け

⚠ 注　意

禁止 **スパッドを固定しているナットは、ゆるめたり、外したりしない**
スプレッダーの位置や向きが変わり、水飛びや洗浄不良の原因になることがあります。

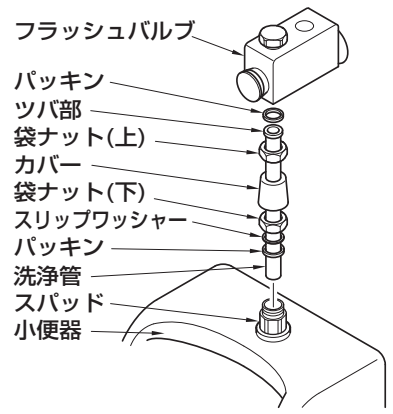
必ず実行 **袋ナット（下）はスパッドを工具などで固定して締め付ける**
スパッドが共回りし、水飛びや洗浄不良の原因になることがあります。

給水金具の取付方法は、別途給水金具の施工説明書を参照し、取り付ける。
※洗浄管で小便器とフラッシュバルブをつなぐため、フラッシュバルブを垂直に取り付けてください。

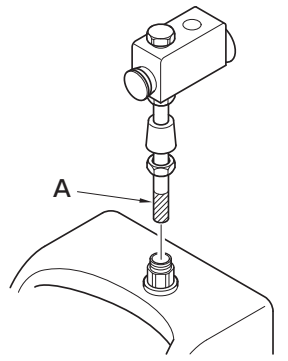
チェックポイント

- **洗浄管はつばのある方がフラッシュバルブ側です。**
  ※洗浄管を反対に取り付けると水漏れします。
- **洗浄管の小便器への接続は現物あわせにて差し込み代10～15mm残して、切断してください。**
  ※洗浄管の差し込み代が少ない場合は水漏れする場合があります。
  ※洗浄管は斜線部側（A）を切断してください。
- **UFH560(Z)以外は、カバーに方向性があります。**
  ※カバー下端と陶器面にすき間が出ないように取り付けてください。

給水部品一覧

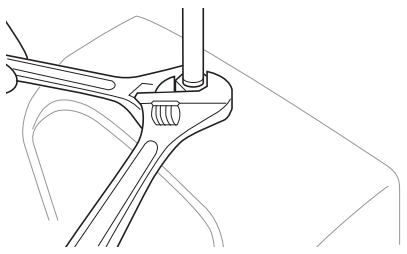


洗浄管切断箇所



取り付け時の注意事項

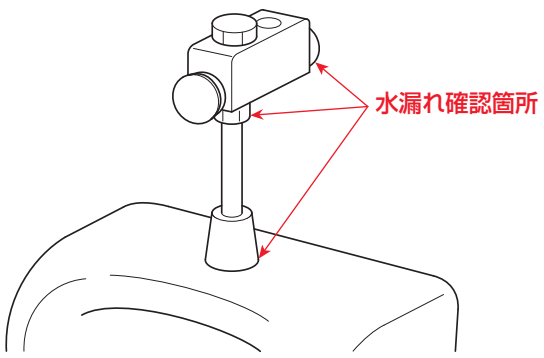
・袋ナット（下）締め付けの際はスパッドを工具で固定してください。
※スパッドが共回りし、水飛びや洗浄不良の原因になる場合があります。また、スプレッダーが破損し水漏れすることがあります。
※パッキンがはみ出し、カバーが取り付かない場合があります。



6 作動・水漏れ確認

・配管接続の間違いがないことを確認後、通水する。
このとき、各接続部位からの水漏れがないことを確認してください。

給水部水漏れ確認箇所

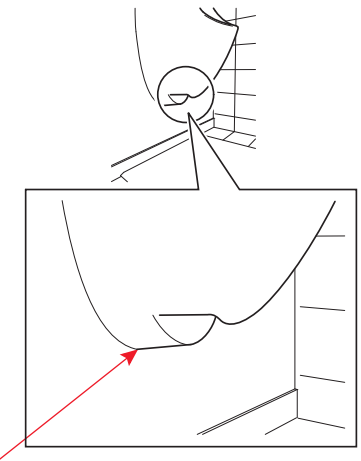


排水口部水漏れ確認箇所

※UFH560以外は小便器下部から、排水口が目視できます。

UFH500(Z), UFH557(Z),
UFH570(Z)の場合

UFH560(Z)の場合



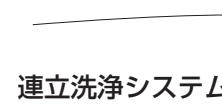
水漏れ確認箇所

※UFH560(Z)は排水接続部が隠蔽されるため、水漏れ確認の際はフラッシュバルブの作動を数回行うようにしてください。

7 流量の調整

・オートクリーンUスプレッダー式小便器用以外の組み合わせの場合は、下記の手順で流量を調整してください。

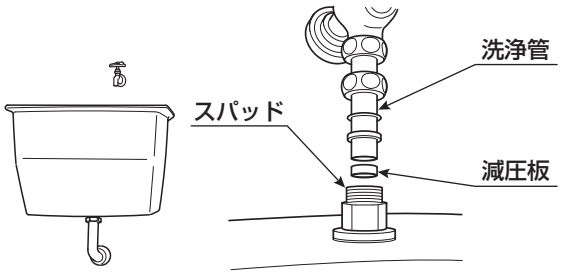
【手押しフラッシュバルブ】



（吐水量の調節手順）

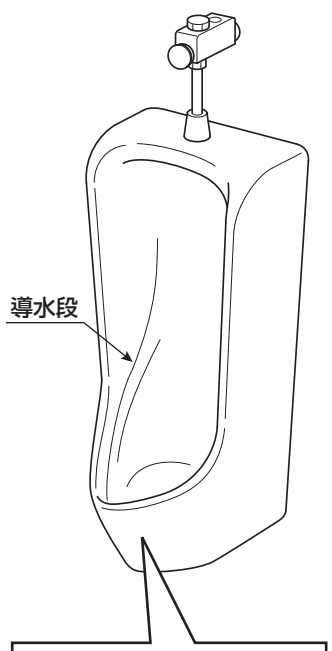
❶フラッシュバルブの①を全閉にする。
❷水を流しながら徐々に①を開けていき、小便器の先端まで水がまわるように調整する。

【ハイタンクなど】



ハイタンクなど、連立洗浄システムを接続される場合は**減圧板を**スパッド(小便器側)に入れ**洗浄管を挿入**してください。

※減圧板（品番：HM500）は別途手配してください。



洗浄水が導水段先端まで十分にまわるように調整してください。

※水勢が強過ぎると、洗浄飛沫・水飛びが多く発生する場合があります。